

発行日：2023年02月21日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：タケロック20DC

製品番号 (SDS NO)：A03800A-7

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：大阪ガスケミカル株式会社

住所：〒550-0023 大阪市西区千代崎三丁目南2番37号 ドームシティガスビル

担当部署：保存剤事業部 品質保証部

電話番号：06-4393-0064

FAX：06-4393-0054

緊急連絡先：保存剤事業部 研究開発部（電話番号06-4804-8380 FAX番号06-4804-8459）

用途及び使用上の制限 木材保存剤

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性(経口)：区分に該当しない

急性毒性(経皮)：区分に該当しない

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性または眼刺激性：区分に該当しない

皮膚感作性：区分に該当しない

生殖毒性：区分 1B

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 2 (呼吸器)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 2 (呼吸器、喉頭)

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 3

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 3

(注) 記載なきGHS分類区分：該当せず/分類対象外/区分外/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

皮膚刺激

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害のおそれ

長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ

水生生物に有害

長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

- 環境への放出を避けること。
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
- 保護手袋を着用すること。
- 指定された個人用保護具を使用すること。
- この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

応急措置

- 特別な処置が必要である。
- 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
- 皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。
- 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

貯蔵

- 施錠して保管すること。

廃棄

- 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

- 単一製品・混合物の区別 :
- 混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号
クロチアニジン	2.0	210880-92-5	5-6732
プロピコナゾール	14.0	60207-90-1	5-6187
IPBC	6.0	55406-53-6	2-3456
ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン	3.4	40766-31-2	4-38; 4-244

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

IPBC

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

IPBC

化管法(令和5年3月31日まで有効)「第1種指定化学物質」該当成分

プロピコナゾール

化管法(令和5年4月1日施行)「第1種指定化学物質」該当成分

クロチアニジン , プロピコナゾール , ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン

化管法(令和5年4月1日施行)「第2種指定化学物質」該当成分

IPBC

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

- 呼吸が停止しているときは人工呼吸を行う。
- 呼吸困難のときは酸素吸入を行う。
- 患者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、速やかに医師の手当てを受ける。

皮膚(または髪)に付着した場合

- 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
- 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。
- 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。
直ちに眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
意識のない被災者には何も飲物を与えてはならない。
直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

周辺設備に適した消火剤を使用する。
水、粉末、炭酸ガス、泡消火剤、ハロゲン化物消火剤、乾燥砂

使ってはならない消火剤

データなし

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。
適切な保護具を着用する。
風上から作業し、風下の人を退避させる。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

回収、中和 ならびに 封じ込め及び浄化の方法/機材

少量の場合:乾燥砂、土、おがくず、ウエス、砂等に吸収させて空容器に回収する。
多量の場合:土砂などでその流れを止め、できるだけ空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

皮膚、粘膜または着衣に触れたり、眼に入らないようにする。

(局所排気、全体換気)

8. ばく露防止及び保護措置を参照

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

適切な保護具については、8. ばく露防止及び保護措置を参照

接触回避データなし

保管

安全な保管条件

直射日光を避け、密閉して冷暗所に保管する。

凍結を避ける。

(配合禁忌)

10. 安定性及び反応性に記載の混触危険物質との接触を避ける。

安全な容器包装材料

奨励材料 製品容器

不適切材料 鉄製容器

8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界値、生物学的限界値等の管理指標

許容濃度

(IPBC)

ACGIH(2008) TWA: 0.01ppm(IFV) (甲状腺不全; 上気道刺激)

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて適切なマスク

手の保護具

非浸透性もしくは耐化学品ゴム

眼の保護具

化学品用ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣、必要に応じて防災面、長靴など

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：粘稠液体

色：類白色

臭い：僅かなにおい

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点データなし

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体)データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界データなし

引火点：なし

自然発火点データなし

分解温度データなし

pH：6～9

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：水に分散

溶媒に対する溶解度：データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

蒸気密度データなし

密度及び/又は相対密度：約1.10(20°C)

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

直射日光を避け、密閉して冷暗所に保管する。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし
避けるべき条件
加熱等
混触危険物質
知見なし
危険有害な分解生成物
知見なし

11. 有害性情報

物理的、化学的及び毒性学的特性に関係した症状

急性毒性

急性毒性(経口)

LD50 > 2000mg/kg(ラット)

急性毒性(経皮)

LD50 > 2000mg/kg(ラット)

急性毒性(粉塵/ミスト吸入)

データなし

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

中程度の刺激性(ウサギ)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

刺激性ほとんどなし(ウサギ)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

なし(モルモット、ビューラー法)

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露)データなし

誤えん有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生毒性(急性)

魚類 LC50(96時間) 10~100mg/L (コイ)

甲殻類 EC50(48時間) 1~10mg/L (オオミジンコ)

藻類 データなし

残留性・分解性

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

生体蓄積性データなし

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

汚染容器及び包装

内容物を十分に除去した後、地方/国の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意**国連番号、国連分類**

番号：該当しない

品名(国連輸送名)：該当しない

国連分類(輸送における危険有害性クラス)：該当しない

容器等級：該当しない

国内規制

陸上規制情報 消防法、毒物及び毒劇取締法の規定に従う。

海上規制情報 船舶安全法に定められている輸送方法に従う。

航空規制情報 航空法に定められている輸送方法に従う。

特別の安全対策

容器の破損、漏れのないことを確認する。

転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

取扱い及び保管上の注意の項も参照する。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

名称表示危険/有害物(令18条)

IPBC

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9)

IPBC

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)

第1種指定化学物質

プロピコナゾール(14%)[(1-171)]

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年4月1日施行)

第1種指定化学物質

クロチアニジン(2.0%)[(管理番号616)]; プロピコナゾール(14%)[(管理番号171)];

ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン(3.4%)[(管理番号653)]

第2種指定化学物質

IPBC(6.0%)[(管理番号803)]

消防法に該当しない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

16. その他の情報**参考文献**

Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS, UN

TLVs and BEIs. (ACGIH)

JIS Z 7253

Supplier's data/information

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によっ

て改訂される事があります。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取扱い頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は作成時点における日本公表データ(NITE)です。

ここに記載した容器等級は当該製品を輸出する際に必要な容器仕様を表したものであり、必ずしも実際の製品荷姿を記載したものではありません。